



連合運動会

6月7日(木) 市民総合グラウンド

前日の雨もすっかり上がり、連合運動会は予定通り6月7日に実施することができました。市内7校の小学校6年生が、赤組(狭山中校区)・白組(第三中校区)・青組(南中校区)に分かれて、競い合い、応援し合います。

グラウンドの乾き具合を見ながらプログラムを入れ替え、開会式は15分遅らせて開始しました。恒例の学校紹介では、どの学校も工夫して元気いっぱい発表していました。



開会式



① ダンス

開会式後、最初の種目は①ダンスで、ジェンカを全員で踊りました。当日までにどの小学校も中学校区ごとに交流会を実施していましたので、初めからすっかり打ち解け、笑顔満開でした。

午前の部はフィールド種目が中心で、②騎馬戦③玉入れ④綱引き(予選)⑤しっぽとりと競技が進みます。どの競技も3色対抗なので、小学校の枠を越えた仲間意識もどんどん高まり、応援にも熱がこもってきます。子どもたちの熱気で、まだ少しぬかるんでいたグラウンドが、だんだん乾いてきたようにも感じられました。



② 騎馬戦



③ 玉入れ



④ 綱引き(予選)



⑤ しっぽとり

午後の部はトラック種目が中心で、⑥100m走(男子)からスタートしました。⑦二人三脚リレー⑧100m走(女子)⑨綱引き(決勝)と進むにつれて、各チームは優勝めざして一層盛り上がってきます。最後の⑩800mリレーでは応援も最高潮、子どもたちは身を乗り出し、声をからして声援を送りました。

そして閉会式、点数に差は出ましたが、全力を尽くした子どもたちの顔はみんな満足げで、お互いの健闘をたたえ合っていました。勝敗を超えて、大阪狭山市の6年生全員の『つながり』を感じられた一日になりました。



⑥ 100m走(男子)



⑦ 二人三脚リレー



⑧ 100m走(女子)



⑨ 綱引き(決勝)



⑩ 800mリレー



閉会式

田植えの体験学習

平成30年6月14日(木)

第七小学校と南第一小学校の5年生が、市内2か所の水田を使用して地元農家の皆さんに協力していただきながら、田植えの体験学習を行いました。第七小は午前、南一小は午後、それぞれ苗の植え方の説明を受けた後、歓声を上げながら柔らかな土に足を踏み入れました。

最初は泥に足をとられて上手く歩くこともできない様子でしたが、農家の方々に教えていただきながら、真っ直ぐ張ったロープを目印に1株ずつ丁寧に苗を植えました。今後は稲の成長を観察し、秋には稲刈りも体験します。農家や市役所の皆さん、ありがとうございました。



第七小の5年生



南一小の5年生

花いっぱいプロジェクト

6月15日(金) : 東小学校

毎年東小学校は『花いっぱいプロジェクト』に参加していますが、今年も6月15日の3年生の移植作業から、その取組みをスタートしました。このプロジェクトは、子どもたちが育てた苗を通して人々の結びつきを深め、都市緑化を推進することで、緑豊かなおののあるまちづくりをめざすものです。

当日は、大阪府土木事務所をはじめ市役所職員、ロータリークラブや地域の皆さん、約30名の方に協力していただきました。

土木事務所の方の説明を受けた後、3年生は16の班に分かれて、サルビア・ペチュニア・ポチュラカなど1120株の苗を、ビニールポットに土を入れ、小さな穴をあけて1株ずつ丁寧に植えました。

これから子どもたちは、約1か月間、愛をこめて水やりなどの苗の世話を続けていきます。大きく育った苗は、みんなで町中に植え替えにいきます。どんなきれいな花が咲くか楽しみです。

秋には、4年生も『花いっぱいプロジェクト』に参加することになっています。

文化芸術による子どもの育成事業

6月1日(金) : 南第一小学校

南第一小学校では文化庁の『文化芸術による子どもの育成事業』の一環として、ゴスペルグループ「SOULMatics」の皆さんに来ていただき、芸術鑑賞会が開催されました。

5時間目、体育館に全校児童が集合して公演が始まりました。ゴスペルにあまり馴染みのない子どもたち、最初は

その音量と迫力に圧倒されていましたが、歌声やリズムにどんどん引き込まれていきます。途中からは、立ち上がり一緒に大きな声で歌ったり踊ったりして、すっかり舞台と一体化していました。

会場には保護者や地域の皆さんも来られていましたが、会場全員が音楽の楽しさ素晴らしさを肌で感じた、あっという間の1時間でした。

がじゅまる研修

6月26日(火)

大阪狭山市の教育の芽や根や幹が、がじゅまるの樹のように大きく深く育つことを願う『がじゅまる研修』の第1回目が東小学校で開催され、市内の教員約30名が参加しました。昨年に引き続き、講師は大阪教育大学岡田耕治先生です。南一小の田中教諭の授業ビデオを視聴し、明日使えそうなことを見つけることが今回のめあてです。

5分間指導案を読んで、自分なりの授業のイメージをした後、実際の授業の様子をビデオで見ました。そして、子どもの姿や教師の手立てについて思ったことや感じたことを書き出し、グループで交流し、明日からの動詞について話し合いました。シェウシェウカフェでは、移動して他のグループの話し合った内容を情報収集しました。

研修終了後はカフェタイムです。田中教諭からのひとことを聞いた後、今日の研修についてのふりかえりをしました。また自分の授業づくり等についても自由に語り合い、日頃の授業を改めて見つめ直すよい機会となりました。

がじゅまる研修は、今年度9月・11月・1月にも実施する予定をしております。

救命救急講習会

大阪狭山市では、毎年全教職員を対象に『救命救急講習会』を実施しており、今年度も6月12・18・19・26日の4日間、消防本部救急グループの方を講師に開催しました。最初に救命措置の概要について説明を受けた後、10人程の班に分かれて、訓練用の人形を用いて心肺蘇生とAEDの使用についての訓練を行いました。

心肺蘇生では、胸骨圧迫を1分間に100回以上のテンポで、しっかり体重をかけて30回行った後に人工呼吸を2回行い、それを救急隊員と交代するまで続けます。その間にAEDが届くと、すぐに使う準備を始め、音声メッセージの指示に従って操作します。

いざという時、救急車が到着するまでの時間、本当に自分が適切な救命措置を落ち着いてできるよう、毎年このような訓練を重ねることが大切だと改めて感じました。